

地域支援だより

平成25年2月15日

第30号

秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

きらりNet



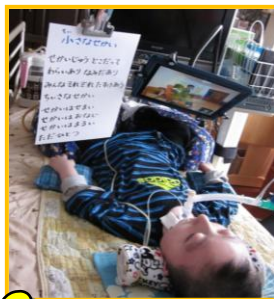
本校のタブレット型端末(iPad)の活用について



本校では、ソフトバンクモバイル株式会社と東京大学先端技術科学研究センターの共同研究である『魔法のじゅうたんプロジェクト』に参加して、タブレット型端末(iPad)を活用した実践研究を進めています。

昨年度までは、訪問学級の児童生徒がパソコンでインターネットテレビ電話サービス『Skype』を使用して、学校での学習や行事などに参加してきました。今年度はiPadのアプリケーション『FaceTime』を使用しています。タブレット型端末には、①写真や動画の撮影、編集、②インターネット検索、③音楽の再生、④メモ、⑤ナビゲーション、⑥カレンダー、などの機能だけでなく、多種多様なアプリケーションがあります。両手におさまる大きさのタブレット型端末で、子どもたちに様々な体験をさせてくれるこれらの機能は、まさに「魔法のじゅうたん」と言うことができます。

今号では、実践の様子や補助器具の活用、おすすめのアプリケーションの紹介をします。



見やすい角度に固定できる「フレキシブルアーム」や大人数で画面を共有できる「AppleTV」など場面や用途に応じて活用しています。

FaceTime

交流や音楽、行事への参加をしました。今後、様々な学習への参加の可能性を探っています。

補助器具の活用



おすすめのアプリケーション

「Pocket Pond」
画面をタッチすると水面が音を出して揺れ、画面の注視や手指の動きを期待できます。



「こえほん」
音声やBGMで絵本を読み進めたり、自分の声をページごとに設定したりできます。



「Apple TV」は、Apple Inc.の登録商標です。

「FaceTime」はApple、「Pocket Pond」はTriggerWave LLC、により開発されたアプリケーションです。

「こえほん」はI-FREEK INC.、「Skype」はSkype Communications S.a.r.lにより開発されたアプリケーションです。

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

連載 本校の授業の様子から ～高等部 秋田工業高校との交流会～

秋田工業高校との交流は、秋田養護学校時代の平成17年度にスタートしました。当時は、交流会だけでなく、秋工を会場にし、秋工生を講師にスイッチ教材の職員研修を開いたこともあります。本校に統合して今年度から交流会を本格的に再開しました。みんな待ちに待った秋工との交流です。

交流会は年3回計画しており、1回目は7月に顔合わせとレクリエーション中心の交流会を実施しました。2回目は12月に秋工生徒が制作した教材の披露と実体験による交流会を実施しました。年度末に3回目として、本校生徒から秋工へのビデオレター（※感謝の気持ちと実際に使用している様子を）送付する予定です。「**同世代との交流を深めること**」、「**ものづくりの大切さとありがたさ、感謝する気持ちと感謝される体験を積む**」ことをねらいとして交流会を計画・実施しています。

12月の交流会で秋工生が製作し、持ってきてくださった教材・教具と交流会の中で実際に使用しながら交流している様子を紹介します。



連載！本校のタブレット型端末の活用② ～楽器の代用となるiPadアプリケーションの紹介～



Drum Meister



ピアノHD



iKoto



リズムで遊ぼう！
動物オーケストラ

どのアプリも軽く触れるだけで音が出るため、押す・弦をはじく等の力を入れる動作が必要ありません。リズム遊びでは、曲に合わせて絵に触れることで効果音が出ます。録音機能があるものでは、弾いた曲や鳴らした音を再度聴くこともできます。無料、有料の物がありますが、アンドロイド端末でも使用できる同様のアプリがあるようです。

「ピアノHD」は、YuXuan Century、「Drum Meister」は、grey Sox、「iKoto」は、GClue,Inc.
「リズムで遊ぼう！動物オーケストラ」は、PIC×PIC,Inc.により開発されたアプリケーションです。

秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記まで御連絡ください。



教頭 五十嵐 昌司 地域支援部 遠藤 美和子

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018(889)8573 FAX：018(889)8575

次号は3月8日発行予定です。